

西栄田町 介護予防と生活支援の語らん場

を開催しました

開催日時: 令和6年11月20日(水)

場所: 西栄田町公民館

参加: 西栄田町にお住まいの19名

内容: 【講話】2025年問題や西栄田町の
高齢化率、語らん場について。

【各代表より発表】地域の取り組みについて。

【意見交換】参加者同士で西栄田町について。



ご参加いただき、
誠にありがとうございました。
ございました。



◆地域の取り組みを、3人の方から発表いただきました。



(アカンヤ会) お手伝い隊

率直な意見をくみとるために、会員アンケートをとり、隊を発足しました。ただ、今は利用要請がない現状です。困っているときに声をあげやすいような工夫を、今後検討していきたいです。

(自治会) 声掛け巡回

施設に入所したり、子どもと同居したり、見守り対象者は減少していくだろう。相手を知ることが大事。今後は福祉協力員の女性とも協力しながら、活動を充実していきたいです。

いきいきサロン

月1回、パタカラ体操、脳トレ、レクリエーションをしたりして、みんなで笑ってその時間を楽しく過ごしています。「参加者も、やっている私たちも楽しい」が一番です。

◆西栄田町の地域づくりについて、意見交換をしました。



西栄田町の良いところ、強みは?

- ・町民運動会を毎年開催。200人以上が参加する。来年は開催50回目になる。
- ・町独自に、町内清掃を年2回やっている。
- ・三世代交流が20年以上続いており、餅つき、ぜんざい、豚汁が出され、活動が活発
- ・移動販売車が来て、とても助かっている。
- ・親切、思いやりがある。電気交換や草取りなど、声をあげれば、手伝ってくれる人がいる。

悩んでいること、今後困りそうなことは?

- ・町内会に入らない人が増えている。班長さんになる人がいない。若い世代とのギャップを感じる。
- ・活動に出てこない、出てこれない人がいる。プライバシーの問題もあり、どうアプローチしてよいものか悩む。
- ・男性の活動参加が少ない。どうしたらいいか。
- ・ゴミ出し支援は生活状況が分かってしまうので、支援のしづらさを感じるのかもしれない。

取り組み状況や色々な方々の協力、思いやりによって活動が継続されていることを発表いただき、皆さん自身が考える町の強みを改めて共有できました。この強みを守り続けるために、語らん場で得られた気づきや課題を、今回参加できなかった方々にもお話したり、参考になりそうな他地区の取り組みを情報提供していきます。

諫早市北部地域包括支援センター 生活支援コーディネーター 田浦英子